

すみれ12月

クリスマスも終わり、

いよいよ年の瀬を迎えました。初雪が降って喜んだら、12月とは思えない温かい日には「あつーい！」と上着を脱いだり、子どもたちは元気に園庭で遊んでいます。

保育室内ではクリスマスに向けて様々な素材に触れて飾りを作ったり、サンタになって遊んだり季節の行事を存分に味わってきました。そして、年末にはたくさん遊んだ保育室に感謝の気持ちを込めて大掃除をして、新しい年を迎える準備もしましたよ。

お正月は生活リズムが崩れやすくなりがちですが、健康に過ごし、休み明けには元気な顔で会えることを楽しみにしています。



1組 絵本『100にんのサンタクロース』から“18にんのサンタクロース”になったよ

12月に入り、クリスマスの雰囲気が感じられるようになった頃『100にんのサンタクロース』を読みました。クリスマスを迎えるために色々なことをするサンタクロースが登場するお話で、子どもたちはすぐに絵本の世界に入り「釣りするサンタになりたい!」「パーティーしたい!」と話が盛り上がりました。まずは絵本と同じようにサンタ帽を好きな色で作って、子どもたちはすっかりサンタクロース気分♪



早速、ラキューでケーキやチキンを作ったり、折り紙で作った楽器でオーケストラ演奏をしたり、リモータで魚を作って釣ってそれを使った魚料理をパーティーで食べたり、子ども達のアイデアを形にする力がどんどん発揮されていきます。



充実した遊びの中で「ここ座っていいよ!」と友達に優しくしたり「今度はこれしよう。」と話して遊びを進めている姿が見られ、イメージを共有するおもしろさを感じてきているように感じます。クリスマス当日は“18にんのサンタクロース”になってキャンドルサービスを見たり、パーティー風に給食を食べたりして楽しみました。

2組 みんなの気持ちが集まったわくわくクリスマス

12月に入り、クリスマスを意識するようになった子ども達。「サンタさん来るかな?」とワクワクしたり、「ぐりとぐらも来てほしい!」「それならちよろりんも来てほしいよね。」と春から親しんできた絵本の中の友達とも一緒にクリスマスを楽しみたい気持ちが湧いてきたようでした。「サンタさんとぐりとぐらに手紙書いたらいいんじゃない?」と手紙を書いたり、みんなが来れるようにと、目印になるクリスマスツリーを作ろう!と積木でのクリスマスツリー作りが始まりました。これまでの積木を積んできた経験を活かし、丁寧に積む事が出来るようになってきています。積みあがると「飾りもつけんなん。」とLAQやロンディで星や雪などを作っていました。クリスマスツリーの制作にも興味津々。段ボールに毛糸を巻く表情は真剣そのものでした。ビーズやコットンボール、モールなども飾り付け世界に一つだけのクリスマスツリーが出来ました。折り紙でリースやサンタクロース、トナカイを作る事にも挑戦しました!色々な素材に触れる楽しみが制作への意欲にもつながっていたようです。クリスマスまで色々な楽しみを重ねてきた子ども達の心には、サンタクロースの姿は見えないけどきつといるよねと思いを馳せ、存在を信じ、想像をふくらませる力が育っている事が感じられましたよ。



クリスマス当日は、おしゅれをしてウキウキしたり、さくらぐみさんのキャンドルサービスを見て厳かな気持ちになったり、プレゼントも届き、楽しいうれしいクリスマスの1日になりましたよ。



クリスマスプレゼントでもらったカードゲーム「かわいいマトリョーシカ」をお部屋でも楽しんでいます。このゲームは、場に並んだ様々な色の服を着たマトリョーシカのイラストから、カードで指示された3色の組み合わせの服を着た1人を探し、その人がしているポーズをいち早く真似することで、その回の3色カードをご褒美として集めるカードゲームです。園では枚数を半分減らし、また、3色の組み合わせを見つける事が理解できるように、ポーズを真似するのではなく、カードを指さすことから始めました。理解でき始めたところで、ポーズを真似するルールを加えて枚数も増やして楽しんでいます。子どもたちは集中してカードを見て、勝ち負けにこだわる子も増えてきて、カードゲームを友達と一緒にする面白さを味わっていますよ。お家でも長いお正月休み、ぜひ楽しんでみてくださいね。



「かわいいマトリョーシカ」を
楽しんでいきます



今年もありがとうございました。どうぞよいお年をおむかえください。